

## 令和4年度事業経過報告について

### I 総会等に関する事項

#### 1. 総会

開催年月日	開催場所	社員		議決権数	
		総数	出席者数	総議決権数	出席議決権数
R04.6.15	書面による議決	3	3	3	3

##### ○報告事項

- 第1号報告 令和4年度事業計画書について
- 第2号報告 令和4年度収支予算書について
- 第3号報告 令和4年度収支補正予算について

##### ○議案

- 第1号議案 役員改選について
- 第2号議案 令和3年度事業経過報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認について  
監査報告

#### 2. 理事会

開催年月日	出席理事数	会議内容
R04.6.8 R04.6.15 R05.2.24	12（書面による議決）	下記参照

##### ○報告事項

- 第1号報告 令和4年度収支補正予算について

##### ○R04.6.8<議案>

- 第1号議案 役員改選について
- 第2号議案 令和3年度事業経過報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認について  
監査報告
- 第3号議案 定時社員総会について

##### ○R04.6.15<議案>

- 第1号議案 理事長、副理事長の選任について

## ○R05. 2. 24<議案>

- 第1号報告 令和4年度事業中間報告について
- 第2号報告 令和4年度収支決算見込みについて
- 第1号議案 令和5年度事業計画（案）について
- 第2号議案 令和5年度収支予算（案）について
- 第3号議案 令和5年度農地賃貸借料について

### 3. 監事による監査

開催年月日	出席監事数	会議内容
R04. 5. 30	2 (2)	令和3年度監査実施

### 4. 代表幹事会

開催年月日	会議内容
R04. 5. 24	定時社員総会に提出する議案等について
R05. 2. 8	理事会に提出する議案等について

## II 事業報告

### 1. 総合振興対策事業

#### ○事業概要

農業振興のための総合的な情報の収集や調査に努め、会員や農業者への情報提供を図るとともに、公社事業の検討を行った。

- (1) 公社だよりの発行
- (2) HP管理および更新

### 2. 農用地利用対策事業

#### 農地利用集積円滑化事業の推進

#### ○事業概要

農地中間管理事業を基本とした中で、農業経営の縮小や廃止を志向する農業者が所有する農地について、耕作放棄地や遊休農地とならないよう、情報の収集活動や農業者の相談活動の強化に努め、農業関係機関・団体と連携のもと、総合的な利用調整を図り、認定農業者を中心とする担い手へ農地を集積した。

- (1) 農地利用集積円滑化事業に係る相談の実施

- (2) 人・農地プランの支援（集落説明会実施）
- (3) 地域集積協力金等各種補助金の資料作成
- (4) 農地中間管理機構関係会議の参加
- (5) その他必要とされる事業の実施

農地利用集積円滑化事業実績

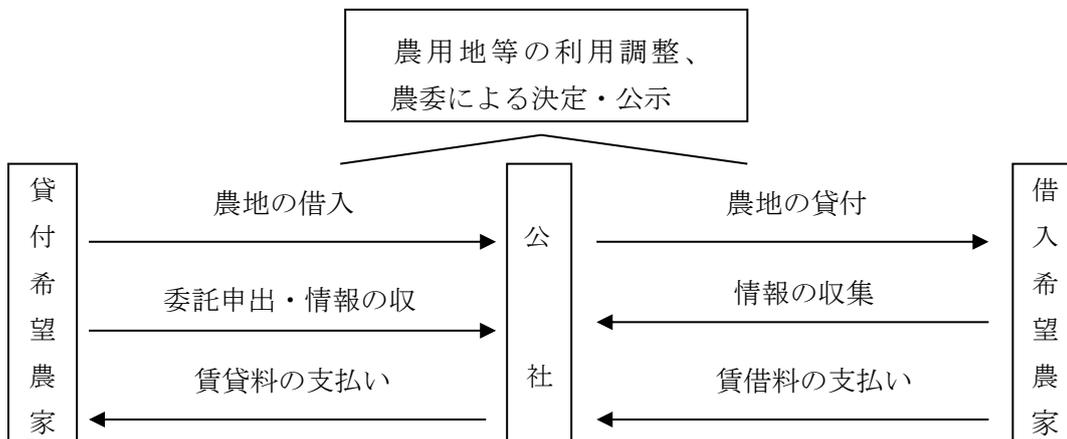
(単位:ha)

年度	H30	R01	R02	R03	R04
面積	355	358	356	323	310

※実績は令和4年3月公告現在

※数値は公社保有面積

<事業実施体制>



農地中間管理事業の推進

農地中間管理機構と受付業務を委託契約して、人・農地プランに沿って機構を通じた利用契約の拡大を図った。

令和4年度の農地中間管理機構への貸出契約成立面積（74ha）は前年対比36%となった。その要因としては、令和4年度末に終期を迎えた農地利用集積円滑化事業の契約面積が前年に比べて少なかったことが考えられる。

3. 農業振興対策事業

○事業概要

各種生産振興対策や生産団体への支援を行い、南区農業の一層の発展を図った。

しかし、新型コロナウイルス感染禍のため、研修事業や販売促進活動は低調だった。

- (1) 技術推進対策
  - ・主要果樹生育調査圃設置
- (2) 防除対策

- ・病虫害防除対策として予察圃場を借り上げ（新潟県農業共済組合）

(3) 団体／協議会／部会助成

- ・しろね生産組織協議会
- ・越後中央農業生産組合協議会
- ・白根地域畜産振興協議会
- ・南区産農産物販売促進活動

<しろね野菜部会>

\*きゅうり王子PV動画を作成し、販売促進活動を行なった。

<しろねえだまめ部会>

\*新規取引先との商談による販路拡大

\*ミニのぼりを作成し、販売促進活動を行なった。

<しろねいちご部会>

\*ホームページを作成し、販売促進活動を行なった。

(4) 花き・花木振興対策

- ・区内保育園卒園記念のアザレア鉢花プレゼント

#### 4. 産地活性化総合対策事業

○事業概要

農家の高齢化や後継者不足により、産地生産量が年々減少しているため、総合的な対策を実施し、「農業王国」としての産地の維持・発展のため農作業支援事業を実施した。

#### 5. 資源循環事業

○事業概要

当該事業は新潟市からの委託事業終了を受けて、南区特有の耕畜連携の取り組みと位置づけ、公社の自主事業として実施した。

白根地区は豚糞堆肥188.5t、散布面積28.8ha、味方地区は牛糞堆肥量1,189t、散布面積118.9haの散布を実施。(合計堆肥量1,377.5t、合計散布面積147.7ha)

\*堆肥散布業務を委託(白根地区/キープクリーン、味方地区/AOBA)

#### 6. 果樹事業費補助金交付事業

○事業概要

果樹農家の防風網の更新に対して助成を行なうことで、品質向上・収量の増加に向けた取組を通じて農業の持続的発展及び安定した農業の担い手等の育成と産地の維持を図った。

## 7 公社管理業務

### ○事業概要

公益法人会計基準に基づいた適正な公社会計事務を行うとともに、公社の組織拡充のため、積極的な会員募集を行なった。

- (1) 会計および庶務管理
- (2) 施設・財産の管理
- (3) 公社業務の進行管理  
計画策定と具体的目標の設定による進行管理  
(農地利用集積円滑化事業、農地中間管理事業、産地活性化総合対策事業、資源循環事業、果樹剪定枝資源循環推進事業、農作業等受委託、会員数)
- (4) 積極的な会員募集と会員と一体となった公社事業の推進  
事業推進、会員募集
- (5) その他必要とされる事業の実施

### ○会員数

(年度末現在)

		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
正会員		4	4	4	4	3	
特別 会員	計 画	170	175	180	190	195	
	実 績	160	185	181	181	198	
	農業団体	2	2	2	2	2	
	農業者	生産組織	18	18	18	18	18
		個人	140	165	161	161	178
	その他	0	0	0	0	0	
合 計		164	189	185	185	201	